

夢二は1916～1918（大正5～7）年に京都東山に住み、旺盛に創作し展覧会を開いた。そして祇園・宮川町の花街に放蕩し、野長瀬晚花ら若き友人や最愛の彦乃との日々を生きた。大正期京都のロマン主義を、光と影の両面から考えたい。



Lecture series

- 研究の最先端 -

no.156

様々な分野の研究をリードする
京大の研究者たち。

一緒に、研究の世界へ。
中高生も大歓迎です。



オンライン開催
(使用アプリ: Zoom)

事前申し込み制

先着30名

★定員になり次第

受付を終了させていただきます★

京都の竹久夢二とロマン主義 ——花街・南蛮・彦乃

2021.07.03 sat.

11:00 ~ 12:00

高木博志

人文科学研究所 教授



ここで論じるのは、従来の「夢二式美人」の理想化されたイメージとは違う。

夢二・晚花の『京女百態』(1917年)には、都踊、祇園、買春、新京極、島原太夫道中、壬生狂言と、京都の光と影が描かれる。南蛮・祇園が憧憬されるロマン主義とともに考えたい。

【申込み方法】

下記アドレスまでE-mailでお申込み下さい。

件名に「レクチャーシリーズ156希望」と明記の上、1)～3)についてお知らせください。後日改めて参加のためのURL等をお知らせ致します。

- 1) 氏名
- 2) 電話番号
- 3) E-mail

【問い合わせ】

京都大学総合博物館 tel:075-753-3272

E-mail: info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp